

平成 21 年 9 月 3 日

## 「ライフプランニング授業」の実施校が 100 校を超えました。

ソニー生命保険株式会社（東京都港区、社長：於久田 太郎）では、平成 17 年度より、これから社会へ羽ばたく生徒・学生に向けて、ライフプランニングの体験学習「ライフプランニング授業」を実施しています。夢を持つことの大切さを実感してもらいたいという想いのもと、当社のライフプランナーが講師を勤め、このたび実施校数が全国で延べ 100 校を超えました。当社は今後とも社会貢献活動の一環として、積極的に取り組みを続けてまいります。

### 1. ライフプランニング授業の概要

#### 【目的】

当社は、お客さまの人生に最適な保障を提供するために、お客さまの夢や将来に関するお考えをお聞きし、お客さまとともに具体的な人生の設計図を描いていきます。これをライフプランニングと言います。

ライフプランニングを通じて、これから先の長い人生における自分の夢やありたい姿を描いてもらうことで、生徒たちに、人生を計画的に生きることの大切さや、夢に向かって努力することの大切さを感じてもらうことを目的としています。

#### 【授業の流れ】

ライフプランニングのプロフェッショナルである当社のライフプランナーが講師となり、生徒・学生をサポートしながら、ともにライフプランニングを行っていきます。まずは仮想の家族を設定し、子供の誕生や進学プラン、住宅購入プランや将来実現したい計画や夢を描いていきます。

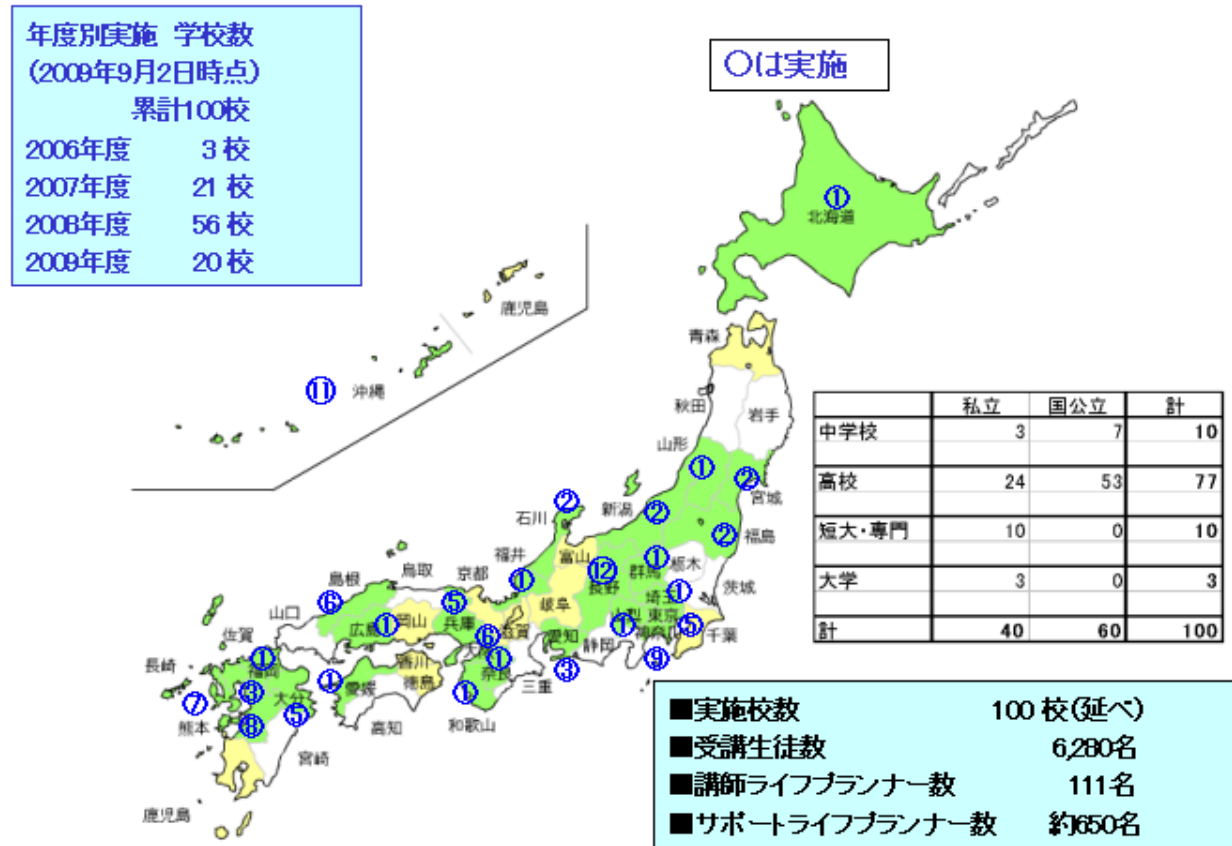
そして、描いた人生で必要となる資金等ライフプランの経済的な側面に関して、ライフプランナーが当社独自のシミュレーションソフト「LiPSS」を使用しながらアドバイスを行います。家計の収支や貯蓄などの経済的な観点からライフプランを検証し、実現に向けたコンサルティングを行うことで、夢や目標達成のために何が必要であるのかをより現実的に生徒・学生たちに感じてもらうことができます。

講師が一つひとつアドバイスする中で、生徒たちはライフプランニングの大切さを学んでいきます。



(写真：授業の様子)

## 2. ライフプランニング授業の実施状況（平成 21 年 9 月 2 日時点）



### ■ 生徒の声（授業後の感想文より）

> 高校 2 年生男子

これを機会に自分の将来設計を真剣に考えていき、自分の夢である自動車整備士という人生の中で一番大きな夢を叶えるために、苦労や努力をし、夢への階段を一步ずつ登っていきたいと思います。

> 高校 2 年生女子

将来はあそこに進学したい、あそこに就職したい、などという単純な考えだけだったのが、今回の講習で「そう簡単には言えないな」と真剣に考えるようになりました。これからは、ただ進路を決めるだけでなく、ちゃんと自分の将来設計をたてて、充実した人生を歩んでいきたいと思いました。

> 高校 3 年生女子

今回の授業を受けて、ただ将来のことが分かっただけじゃなくて、改めて親は凄と思うことができました。将来は今まで苦労をかけてきたので…絶対!親孝行をしていこうと思いました。

> 高校 3 年生男子

私たちが、生きてこれた背景には、たくさんの両親の苦労があったことを痛感しました。今まで持っていた両親への感謝の気持ちがより一層大きくなりました。私が自立し、私自身の力で生活できるようになった時には、一生懸けて両親に恩返しをしたいとおもいました。

<ご参考>

高校生の84%が10年後の将来に不安  
先が見えない不況の時代に、人生設計を授業で実践  
ソニー生命の「ライフプランニング授業」

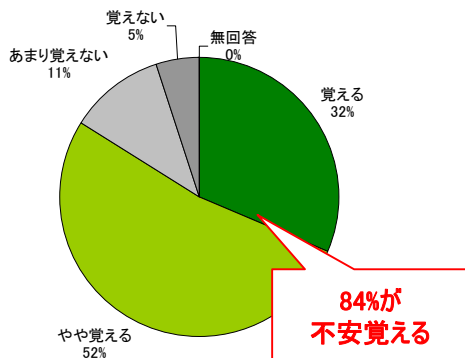
世界的金融危機の影響により、先行きが見えない不況が続いています。このような経済状況の中、若い世代は将来に対してどのようなビジョンを抱いているのか？当社では、現役高校生男女200人を対象に、将来に関する調査を実施いたしました。（全国に在住の高校生を対象に「将来に関する調査」を、2009年4月28日（火）から4月29日（水）にかけて、インターネットを通じて実施しました。[有効回答数：男女100名ずつ 計200名]

■現役高校生の84%が将来に対して不安 自分が将来何になりたいか？という明確な目標持てない…65%

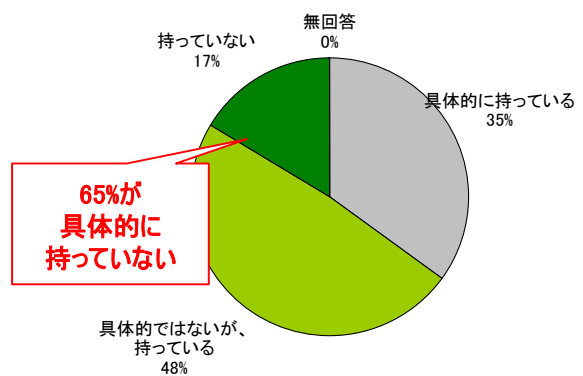
当社が独自に調査した結果によると、今の高校生は自分たちの将来に対して、非常に不安に感じていることが分かりました。

.....(調査結果).....

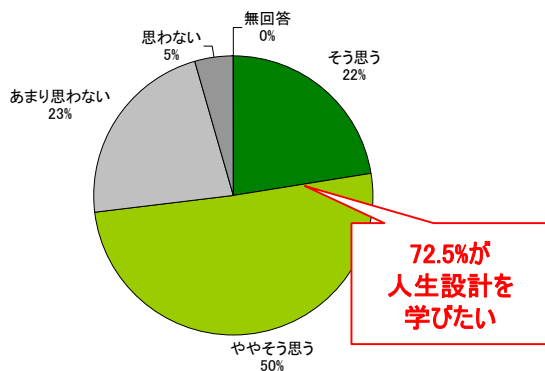
Q: 10年後の将来に不安を覚えますか？



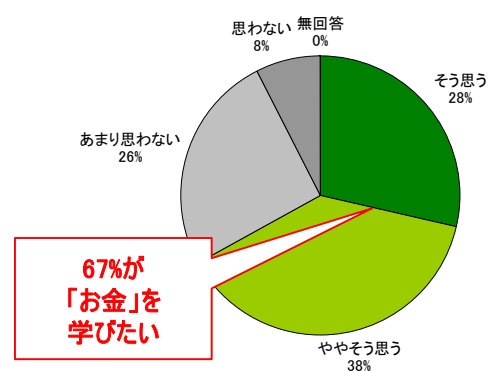
Q: あなたは将来の夢や目標を持っていますか？



Q: 人生設計について学べる場があれば、勉強してみたいと思いますか？



Q: お金の使い方や貯め方など「お金」について学べる場があれば、勉強してみたいと思いますか？



今回現役高校生200名に対して、「10年後の将来に不安を覚えますか？」という質問をしたところ、「覚える」、「やや覚える」と答えた高校生が84%にのぼりました。また、「将来の夢や目標を持っていますか？」という質問に対しては、具体的に持っていると答えたのは35%に留まり、65%の高校生が具体的には夢や目標が持ていないという調査結果となり、2つの質問から高校生が自分の将来に対して先行きが不透明な印象を持っていることが浮き彫りとなりました。

一方で、「人生設計について学べる場があれば、勉強してみたいですか？」、「お金の使い方や貯め方など『お金』について学べる場があれば、勉強してみたいと思いますか？」という質問に対しては、それぞれ72.5%、67%の高校生が「そう思う」、「ややそう思う」という前向きな回答でした。

この結果を踏まえると、「将来に不安を覚える」、「人生の具体的な夢や目標が見つけれない」というのは、学ぶ意欲はあるけれども、その設計方法を知らない、学ぶ機会がないということが要因の一つであるという見方もあります。

当社では、生徒・学生に対して、人生という長いスパンで自分の夢を意識しながら、実際の生活に基づいた自分の人生設計を考える時間を提供すべく、「ライフプランニング授業」を行っております。